



平成21年12月

第12号



丹波國峯山金毘羅神社之圖

丹波 峰山の
こんぴらさん

百年前のこんぴらさん
平成二十三年（二〇一一）には、御鎮座二百年祭を迎えますが、さかのぼって百年ほど前に描かれたと思われる境内の鳥瞰図です。
明治四十四年（一九一一）に行われた御鎮座百年祭を記念して描かれたもののように、震災前の境内の様子がよくわかります。
拝殿前の石畳には回廊があり、佐々木社八坂社は本殿よりもさらに奥にあります。その佐々木社が現在ある位置には事務所、向かいは当時「遊仙窟（ユウセンクツ）」を偲ばせるような建物」とも評された「狛猫」の木鳥社です。
参道の両脇は田んぼと湿地のように描かれ、現在の風景との違いがよくわかります。
原画はエッチング銅版画で単彩画ですが、わかり易くするため着色しています。

こんぴら
手づくり市
みかぼりいねのまじや
おんぼり
まぐり
みかぼりいねのまじや
手づくり市は、みかぼりいねのまじや。

出展者募集中!!

毎月第3日曜日開催中!

朝10時～夕方3時頃まで

冬季(1月・2月)はお休みです
12/20 3/21 4/18 5/16
6/20 7/18 開催予定



紅葉祭 おばけ大会(十一月二十日)

初回こんぴら手づくり市(十月十八日)

TANG金
★ KONPIRASAN ★

初穂料 各500円
好評お授け中

★ KOMANEKO ★

平成二十二年
祭行事のご案内

初詣
大晦日より終夜参拝
元日 御神酒 授与
正月縁起物多数
※元日午前零時より、
峰翔会（こんぴらさん応援団）が
「甘酒」の無料接待を
「奉仕いたします。」

一月十四日(木) 午前七時～
焼納祭(どんど焼)

二月七日(日) 十二時
節分 還暦初老祈願祭
節分祈願祭を二月第一日曜に
執行します。
ご参列希望の方は、
地域にかかわらず
多数お申し込み下さいませ。

「お伊勢さん 初まいり」
伊勢参宮旅行 参加者募集中
二月二十二～二十三日(月・火)
参加費 一人二一、〇〇〇円

四月九・十日(金・土)
春季大祭 吉例「宝籤」開催

平成二十三年
御鎮座二百年大祭
金毘羅神社
〒610-0001
京丹後市峰山町泉三三三
電話 0777-262025
FAX 0777-262593

mail info@konpirasan.com
http://www.konpirasan.com

新年祈願承り中

家内安全 心身健勝
商売繁盛 会社隆昌
男女厄年 開運厄除
合格祈願 学業成就
海上安全 大漁満足

平成22年の厄年(数え年)

平成4年生	19歳	女子厄年
昭和61年生	25歳	男女
昭和53年生	33歳	女子大厄
昭和49年生	37歳	男女
昭和44年生	42歳	大厄初老
昭和25年生	61歳	還暦

二百年祭へ向けて 屋台特別展示

二年後の二百年記念例祭には町内全屋台の出動を目指して準備を進めていますが、その足がかりとして本年の例祭では巡行予定のない屋台を一週間境内に展示し、巡行前日には「前夜祭」を開催しました。

のほ、春日山（二区上）、天神山（四区呉服）、五幸太刀振り（十一区）と須賀神社の杉若神楽、杉若太鼓でしたが、巡行予定のない釜堀山（五区浪花）、金刀比羅山（泉）の屋台を十月

四日より境内に展示、特に釜堀山は急きよ十一日朝の神輿行列発御にお供の巡行を行い、実に十八年ぶりの出動を果たしました。

十日の前夜祭では、展示屋台がライトアップされる中、天神山、金刀比羅山の囃子と杉若神楽、杉若太鼓の奉納披露が行われ、二百年を記念する行事として盛大に執行、二年後へ向けての拳を固めることが出来ました。



こんぴら手づくり市 始まりました

「ゆ〜っくり、のんびり。」手作り作品を展示して、お話を楽しみながら販売もできます。

「手作り品」にこだわった月の市「こんぴら手づくり市」が始まりました。以前から「丹後のシンボルでもあるこんぴらさんで市がやりたい」というお声をいただいております。二百年祭へ向けて素晴らしい位置付けになるとして、町内有志が実行委員会を組織、十月十八日（日）より開催が実現しました。

広い境内が出展者で埋めつくされる、とまでは行きませんが、手芸品、かばん、陶器や工芸品、着物リメイクの洋服、パンに野菜に鉢植えなどなど、手作り品が参道に並べられ、訪れた方々との笑顔の会話が途切れることはなく、出展者からは「こんぴらさんでお店が開けるなんて嬉しいです。定着するといいですね。」とお声も。

京都市内でも神社やお寺の境内で開催されている市は多くありますが、田舎の神社にふさわしく、ゆ〜っくりほっこりできるような市を長く続けていくことが目標です。



紅葉祭におばけ大会

今年の紅葉祭は大盛況でした。天候と紅葉を考慮して例年より一週間早く十一月二十二日（日）に開催。期待通りの晴天日、主役の紅葉は早いものは散り始め、遅いものはまだ緑という状況でしたが、祭りを一番盛り上げたのは「おばけ大会」です。平たく言えば仮装大会ですが、京都の節分行事にある「おばけ」に因んだ由緒ある行事で、仮装して神社にお参りすると厄落としになる。という風習をとりいれ、町内を行列してゴミ拾いを行い、町も自分の心身も清浄になりましょう。というものです。

午後から 思い思いの姿に化したおばけ達四十数名が神社に集い、丹後七姫まで加わって、町へ繰り出しゴミ拾い。次には神社へ戻って本殿に正式参拝して、町も人も厄落としを完了。最後におばけコンテストを行い「捨て身のユーモア賞」「ちびっ子おばけ大賞」「ベストドレスサー賞」の表彰が行われました。新型インフルエンザの蔓延と重なり、



大雨で 崖崩落

八月九・十日に当地を襲った集中豪雨により、山内稲荷社下北面の崖が崩れる被害が出ました。下を通る道は土砂が完全にふさいでしまいました。近隣への影響は無く済みました。

防火水槽設置

町内の防災施設として防火水槽が、境内駐車場出入口口通路に埋設されました。地元七・八・十三区の申請で丹後市の事業として設置され、十一月月上旬に完成しました。



弔慰

小松通 男殿(七十五歳)

金刀比羅神社 総代は

九月二十二日逝去されました。

小松氏は平成十七年金刀比羅会監事、平成二十年十二月金刀比羅神社総代に就任され神社の護持に奉仕されました。茲にご生前のご功労を謝し謹んでお悔やみ申し上げます。



準備していた小学生親子などの参加が減ってしまいましたが、終始笑って笑って厄落とし、という行事となりました。

